

『専修ビジネス・レビュー』

Vol.11 No.1 刊行のことば

—商学研究所創設50周年にあたって—

専修大学商学研究所所長

神原 理

専修大学商学研究所は、2015年に50周年を迎えました。当研究所は、本学商学部の創設とともに設立されたので、商学部とともに50周年を迎えることになりました。商学部は、1905（明治38）年に創設された「商科」を起源としていることから、商学教育は110年を迎えることになります。100年以上にわたる商学教育によって、4万7000人以上の卒業生が各界で活躍しています。こうした歴史と伝統にもとづく実績によって、本学の教育と研究は成り立っているということへの感謝の気持ちとともに、先人たちの弛まぬ努力に改めて敬意を表しております。

その間、商学研究所では、設立10周年を記念して1975年に『商学研究所所報』を発行し、毎年1号ずつ発行してきました。2006年には、設立40周年を記念して『専修ビジネスレビュー』と名称を変えて創刊し、商学に関する学術的な情報発信を継続的に行ってきました。

50周年を迎えるにあたって、当研究所としては表立った周年行事は行いませんでしたが、商学部創設50周年記念事業には所員も尽力し、その一環として、所報「専修大学商学部創立50周年（商学教育110周年）記念事業，特殊講義『ビジネス・インサイトⅠ・Ⅱ』講義抄録」を発行いたしました。

移り変わりの激しい現代社会にあって、常に時代の変化を見据えながらも、地道な結果を出し続けることが学術的な研究機関としての役目でもあり、50周年の節目を迎えても、なお襟を正しながら歩むべき道であると考えております。そうしたなか本誌では、「マーケティング研究の現場から」という特集テーマと自由論題にもとづいて、各所員がそれぞれの専門分野から最先端の研究結果を投稿しております。こうした研究成果が、学術的・実践的な社会貢献に寄与できれば望外のことと思っております。

末尾になりますが、貴重な研究成果を投稿して下さった執筆者各位に敬意を表するとともに、関係諸氏には、変わらぬご支援、ご鞭撻の程を賜りますようお願い申し上げます。

2016年3月